

本会議の代表質疑から

本定例会では、条例・その他の議案、予算、施政方針について各会派の代表質疑を行いました。代表質疑及び個人質疑は一括して各会派の持ち時間内で行い、大会派順に発言をします。持ち時間は各会派の人数等によって決まり、各会派の持ち時間及び発言順序は以下のとおりです。

まちだ市民クラブ	65分
公明党	55分
自由民主党	50分
日本共産党	45分
選ばれる町田をつくる会	45分
無所属	40分



〈録画中継ページ〉

まちだ市民クラブ
戸塚正人

問 財政状況について、市税収入が過去最高額であるが、価格高騰や少子高齢化の影響で財政状況は厳しい。この財政状況において、自治体求められる市政運営はなにか。

市長 事業の見直し、情勢に応じて展開していく必要があります。また、投資を行うことで市の魅力を高めていくことが重要と考えております。

問 学校再編について、財政状況や人口統計等により、計画見直しをしたが内容は、また、スクールバスについて、多岐の市政課題に網羅する全庁的なスクールバスとするべきかどうか。

市長 単学級化する、小規模化が見込まれる学校から統合などに着手するとしており

ます。基本計画を策定する際に交通手段及びスクールバスの空き時間における活用も決定していく予定でございます。

問 町田駅再整備について、多摩都市モノレールの延伸は2032年の開通目標で進めてきたが、現状の延伸目標は、

市長 町田方面は箱根ヶ崎先方面からさらに5、6年程度遅れると考えております。

問 工芸館整備について、事業者から仮契約解除を申し出されたが、どのような経緯・要因か。また、この状況で事業者公募を行い、2026年1月からの着工というスケジュールは実現性があるか。

市長 理由はよく分かっております。経緯はしかるべきタイミングでご説明をまいります。入札情報を知りたいだけという工夫を行い、実効性を高めてまいります。

自由民主党
石川好忠

問 令和7年度の予算編成の考え方は。

市長 事務事業の見直しを図るとともに、町田市5カ年計画22―26に掲げる事業や取組の目標達成を意識した予算編成を進めてまいります。

問 地域コミュニティの在り方を捉え直す上での考えは。

市長 市民の皆様にとって住み続けたい町であり続けるためには、地域コミュニティを担う力をもう一度取り戻すことが必要と考えております。地域にとって身近な学校を中心として、在り方を捉え直していきたいと考えております。

問 子どもにやさしいまちの実現に向けた今後の展望は。

市長 子どもにやさしいまちの姿は、地域や事業者など、

選ばれる町田をつくる会
若林章喜

子どもを取り巻く様々な主体が子どもたちのために活動し、社会全体で連携し、子どもの育ちを支える町であると認識をしております。これから市民や事業者の皆さんにご理解とご協力をいただきながら、子どもにやさしいまちづくりを一層推し進めてまいります。

問 中心市街地の再整備・再開発にかける市長の思いは。

市長 町に出かける目的や町での過ごし方が、そこでしか得られない体験や感動を誰かと共有する、そのように変わってきているように感じております。そのため、町田らしい商業のにぎわいに加え、誰かと一緒に楽しむ、体験するといった新しいにぎわいを加えることで、多くの方々に町田に行ってみよう、集まろうと思ってもらえる町にしていきたいと考えております。

公明党
おんじょう由久

問 児童相談所や子ども家庭支援課、教育センター、保健所の連携は、虐待の未然防止に大変重要だが、どのような体制で対応していくか。

市長 町田市子育て支援ネットワーク連絡会を中心としながら、虐待の未然防止にも注力し、関係機関全体における対応力の強化につなげていくと考えております。

問 今後も建設費の増加が見込まれる中、学校統合をどのように進めるか。また、地域活用型学校、また跡地をどのように活用していくか。

市長 計画の事業期間を8年だったものを13年に、11校を12校に変更しております。施設整備の着工スケジュールを毎年度1校程度とすること

日本共産党
細野龍子

などにより、適正規模・適正配置の推進、教育環境の向上と財政支出の平準化を図りながら、取組を進めていくということを検討しております。子どもも大人ともに学び、ともに育つ地域活用型学校として、コミュニティの核となる場としていきたいと考えております。跡地活用につきましては、より多くの方からご意見を伺いながら、様々な視点からその可能性を学校跡地ごとに整理をいたします。

問 市民の安全を守るため、今後、町田市はどのように防犯対策に取り組む考えか。

市長 都の補助事業を活用し、住まいの防犯対策補助事業を実施したいと考えております。引き続き警察や防犯関係団体と連携し、市民の皆様の防犯意識が高まるよう、啓発活動を実施してまいります。

無所属
松岡みゆき

問 「町田市子どもにやさしいまち条例」における子どもの権利を守るために、第三者機関の設置を求めるが、市長の見解を問う。

市長 18年度から子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）に参画し、21年度からはグローバルスタンダードな視点による評価基準を定めております。CFCIの言わば第三者評価基準と同じ機能を持つ客観的な評価基準を条例として置き換えたものであり、子どもの権利を守り、子ども視点のまちづくりを行うております。第三者機関の設置は、他自治体における活動状況等を注視してまいります。

問 （仮称）国際工芸美術館整備計画は市民の理解を得られていない。見直しを求める声にどのように応えるのか。

市長 市民の方々に丁寧な説明を行うとともに、ご意見を伺いながら進めてまいります。多くのの方々にガラスと陶磁器のコレクションをご覧いただく場として、早期に完成させたいと思っております。引き続き、丁寧に説明しながら事業を進めてまいります。

問 さるびあ図書館を中央図書館に集約することは、市民と議会の意向に背くが、見解を問う。

市長 公共施設の再編につきましては、「みんなで描こうより良いかたち 町田市公共施設再編計画」に基づき、推進しております。18年度から26年度までの取組として、短期再編プログラムを示しており、図書館につきましても、取組を進めてまいります。

～常任委員会の活動状況～

町田市議会では、常任委員会の活動として、市内の各種団体の皆さんと懇談会を開催し、市民と議会の意見を交換する場としています。懇談会で出された意見については、議会活動に反映させていただきます。3月までに開催した懇談会は次のとおりです。

日付	団体名	内容	対応した常任委員会
3月4日	特定非営利活動法人ゆどうふ	ひきこもりについて	健康福祉
3月21日	町田市学童保育を考える会 町田市学童保育クラブ父母会 連絡協議会	町田市の学童保育クラブの現状と今後の在り方について	文教社会

市議会を傍聴しませんか

市庁舎3階の受付カウンターまでお気軽にお越しください。
次回6月定例会の日程は1面をご覧ください。



市長 26年度には、審査会委員にタブレット端末を貸与することで全ての審査会をオンラインで開催し、会議のオンライン化と資料のペーパーレス化を100%達成することを目指しております。

問 学校統合や29年度のオープンを目指す芹ヶ谷公園の芸術の杜、野津田公園スポーツの森のスケートパーク等の整備は、市民の意見に耳を傾ける事業推進プロセスに方向転換すべきと思うが。

市長 市政懇談会や市長と語る会などの場で広く、直接市民の皆様と対話する機会を日常的にも設けており、事業への共感や賛同を得られるよう、日々努めております。

政策経営部長 説明会や検討会など、地域や関係する方々に丁寧に説明する、あるいは対話の機会を設けています。